

見積業者選定経過書

1 業 務 名	フィールド研修実践事例作成業務
2 応募者数	6 者
3 委員会の構成 委員長 委員長 委員	委員長氏名 曾根原 好彦 (学びの改革支援課長) 委員氏名 臼井 学 (学びの改革支援課義務教育指導係長) 太田 光洋 (信州幼児教育支援センター長) 柄沢 竜治 (こども・家庭課長)
4 選定基準	○東信、南信、中信、北信内で、それぞれ合計点の最も高い園を選定する。 ○全県で、合計点の最も高い園・小学校を選定する。 ○得点が、同点の場合は審査項目の a)～e) または f)～j) の合計点が高い園を選定する。 ○公立私立、園種 (幼稚園、保育園、認定こども園) のバランスを考慮して選定する。
5 選定結果 選定された者 評価点集計結果	<p>1-1 東信 東御市立和保育園 82 点。東信で一位であったため選定した。</p> <p>1-2 南信 伊那市立上の原保育園 82.25 点。南信で一位であったため選定した。</p> <p>1-3 中信 こまくさ幼稚園 (大町市) 82.75 点。中信で一位であったため選定した。</p> <p>1-4 北信 飯綱町立さみずっ子保育園 85.75 点。北信で一位であったため選定した。</p> <p>2 園小接続 松本市立明善小学校 89.75 点。園小接続で一位であったため選定した。</p>
6 企画提案を求める具体的内容	<p>どのように質の高い幼児教育を実現させるか、または、どのように円滑な園小接続の取組を実現させるか、実践事例案を提出する。実践事例案については、次に掲げる a)～e) または f)～j) の要素を盛り込む。</p> <p>質の高い幼児教育の実現</p> <p>a) 幼児期の特性を踏まえた、環境を通して行う保育 b) 情緒の安定 (養護) と教育の一体化 c) 遊びを通しての総合的な保育 d) 幼児一人一人の発達過程、特性に応じた保育 e) 子育て支援、家庭との連携</p> <p>円滑な園小接続の取組</p> <p>f) 幼児期から児童期への学びの連続性 g) 園小接続期の教育の質向上のための環境の構成や環境づくり</p>

	<p>h) 接続を見通した教育課程の編成・実施</p> <p>i) 共に学び合うインクルーシブな保育・授業</p> <p>j) 園小接続のための連携・接続の体制</p>
7 企画提案で評価された点	<p>○事業の内容 本事業の趣旨に合致した企画内容になっていたこと</p> <p>○事業実地主体の経験・的確性 上記6のa)～e)またはf)～j)の要素を高いレベルで盛り込んでいたこと。</p>
8 総合的判断	<p>選定した4園の設置者は公立3園、私立1園であり、園種は保育所3園、認定こども園1園であるが、県内では、公立保育所の占める割合が高いことから適切であると判断した。</p>